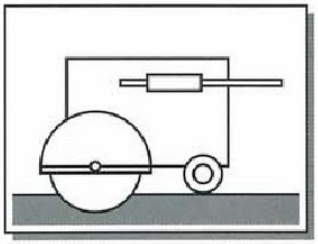
カッター工事



カッター工事は、主に以下のような場合に用います。
◎道路舗装工事・道路配管等に伴うアスファルト切断
◎改修や解体工事に伴うスラブ切断等コンクリート切断　◎目地カッター
◎スラブ開口新設　◎グルビーング工事

《施工手順》

①カッターを入れる際の幅・切断深さ・総延長を確認し、適合するマシンとカッターブレードを選定します。

②作業帯を設置し、切断箇所にラインを引きます。

③ブレードシャフトに油を差し、ブレード面とフランジに隙間がないことと、ブレードカバーが確実にとまっていることを確認します。

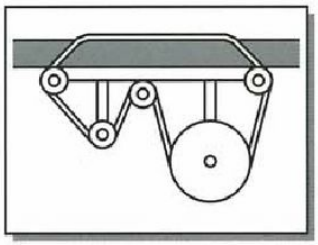
④マシンを始動し、ブレードの冷却水を給水しながら、切断を開始します。
最初はマシンを浮かせた状態で徐々に切り込みを入れて行き、予定の切断深さに達したら、水平方向への切断に移ります。マシン前面のガイドアームをスミに合せて、ラインが曲がらないようにします。

⑤切断深さが深い場合は、最初に厚めのブレードで200㎜程度切断してから、再度、規定の深さまで、二段階に分けて切断します。

⑥指定されたラインを切断し終えたら、給水及び回転を停止し、ブレードを引き上げます。

⑦現場の状況に応じて、低騒音タイプ・吸水タイプ等のマシンを使用します。

ワイヤーソー工事



ワイヤーソー工事は、ダイヤモンドチップを数珠状に装着したワイヤーをループ状に接続し、切断部分に巻き付けて、給水しながら回転させ躯体を切断する工法です。主に以下のような場合に用います。
◎コンクリート構造の建築物改修・解体工事　◎橋の改修や解体工事

《施工手順》

①事前に、切断する躯体の状況・大きさ・切断範囲を確認しておき、使用する機械を選定します。

②ダイヤモンドコアでワイヤーを通すための孔を、切断部分の両端、または開口部分の四隅に穿孔します。

③ワイヤーの回転・ガイドを担うプーリー、及びモーターを躯体に固定します。

④あらかじめ貫通しておいた孔にワイヤーを通し、躯体に巻き付けてから、両端を圧着・接続してループ状にします。ワイヤーをプーリーにセットし、駆動力が伝わるようにします。

⑤切断箇所周辺に安全フェンスを設置し、絶対に人が近寄らないようにします。オペレーターも姿勢を低くして、機械からなるべく距離をとります。
大量の冷却水を使用しますので、必要に応じて、下のフロアーにノロ水の養生をしておきます。

⑥機械を始動し、ワイヤーの冷却水を給水しながら、切断を開始します。

⑦ある程度切断した時点で、一旦機械を停止し、ワイヤーの噛み込み防止用のくさびを切断部分に打ち込みます。

⑧再度機械を始動し、回転・切断を続け、ワイヤーが躯体を貫通した時点で、直ちに給水及び回転を停止します。
ワイヤーの回転が完全に停止したことを確認して、切断終了とします。

⑨ガラはその場で細かく破砕するか、吊り上げるなどして搬出します。